

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立西小学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 「学校教育目標」「進んで学び 共に世界で生きる子」を委員全員が理解し共有することができた。発足1年目ではあるが、学校教育の現状を知り、多くの委員が当事者意識を持って協議に参加することができた。
- 教員が現場で困っていること、改革したいと考えていることが、具体的に提示されたので、学校の現状を理解できた。
- 学校側からの報告とそれに対する意見交換ができたが、まだ議論とまではしていない。学校教育目標のもと、家庭と地域がどのような形で応援できるのか考え、議論を深めていかなければならない。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 熟議を通して委員自身の気づきになった。学校現場が直面している困難に、当事者意識をもって協議に参加できた。
- 熟議を通して、新しい時代の教育が加わり先生が多忙になり負担が大きくなっていることが分かった。働きがい改革の推進に協力し、熟議を進めていく必要がある。
- 地域人材の活用について、さらに熟議を深める必要がある。PTA以外の方で学校運営に協力してもらえる人材を探す方法を考えたい。
- 地域と学校の協働活動の意味は理解していても、その取組内容や問題点について、しっかりと捉えてはいないため、さらなる熟議が必要だと考える。学校支援のためには、学校から課題について、より具体的に発信してもらいたい。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ 教職員の働き方改革と提供される教育の質とのバランスについて考えていけたらと思う。働きがい改革の一環として取り組まれた「ふれあいDay」の検証とさらなる推進を行い、浜松市の教職員としての魅力的な職場とライフスタイルの発信ができればよい。また、民間企業のノウハウなどを取り入れられると良いと思う。
- ・ 学校に関わりを持ちたい方が集まる人材バンクのような仕組みを考えていきたい。
- ・ 学校運営協議会とコーディネーターが中心となって、授業の企画運営を進めていくことができるように、目標とスケジュールを定めて活動していくことができるように。また、学校が考えている教育目標に対する達成度や、学習実績について、できるだけ多く具体的な成果として報告してもらうことで、学校運営協議会だけでなく、保護者や地域にも示すことができるようになるため、日々の学習活動の報告などを取りまとめて、一つのまとまった資料として作っていくと良い。
- ・ まずは、自分自身のネットワークに働きかけて、地域の中の学校を支えていくよう努めたい。コロナ禍で遠慮していたが、今後は学校・子供たちの様子を知るためにも学校に足を運ぶようにしたい。